医療・介護福祉・児童福祉複合型施設

山形県済生会
小白川ケアセンター



社会福祉法人 恩賜財団 済生会
おんしざいだん さいせいかい

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部山形県済生会

山形県済生会小白川ケアセンター

施設理念

「すべての世代に笑顔と幸せを届けます」

当センターは、各階（フロア）で提供するサービスが異なる特色を生かし、利用者様の多様なニーズにお応えできる施設になります。
また、「乳児院はやぶさ」は、内陸地域に設置を望む声を受け、県内初の民間運営による児童福祉施設になります。
これからの超高齢化社会における、地域包括ケアシステムの拠点として、また、少子高齢化の中、次の時代を担う子供たちの健全な成長に寄与することを目的に、私ども済生会が担う役割を充分に展開できる施設として地域福祉に貢献していきます。



施 設 概 要



施設名称	山形県済生会小白川ケアセンター
設置主体	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部山形県済生会
開設年月日	平成31年4月1日
敷地面積	3,114.69㎡
延床面積	6,183.09㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造[地上5階 地下1階]

サービス内容・主な設備

サービス付き高齢者向け住宅小白川

サービス付き高齢者向け住宅
【地域密着型特定施設入居者生活介護（介護保険利用）18室】
【住宅型（外部サービス利用）1室】
全室個室[約18㎡]・介護用ベッド・タンス・ワードローブ
トイレ（ウォシュレット）・洗面台付

ショートステイ小白川

ショートステイ 【20室】個室10室・2人室5室
部屋面積（1床）[約16～20㎡]
介護用ベッド・タンス・洗面台
食堂兼機能訓練室（72.0㎡）

乳 児 院 は や ぶ さ

乳児院はやぶさ【定員19人】
セキュリティーロックシステム・床暖房システム
親子宿泊訓練室・心理療法室

デイサービスセンター小白川

デイサービスセンター【定員25人】
食堂兼日常訓練室（167㎡）・機能訓練室（147㎡）
大浴場・機械式浴槽（2台）・機能訓練設備機器

山形済生病院附属小白川診療所
管理事務室・通所リハビリテーション

診療所【内科・整形外科】
診療時間　9:00～12:00
診療日　内科　火曜日、木曜日
整形外科　月曜日、金曜日
第1,3,5水曜日

通所リハビリテーション【定員20人】
月～金曜日　午前 9:15～12:15
午後 1:45～4:45

地階 [厨房・各種管理設備室]

済生会山形訪問看護ステーションサテライト小白川（2階）

サービス付き高齢者向け住宅

60歳以上の高齢者（60歳未満は要介護認定）の方を対象にした住宅（賃貸借契約）になります。
全室個室で広さは約18㎡、室内にはトイレ（ウォシュレット）洗面台・介護用ベッド・タンス・ロッカーを備え付けています。
共用の浴室として、ユニット型介護浴槽浴室（2室）・機械式浴室を備えています。
山形市より「地域密着型特定施設」の指定を受け、介護保険の適用でスタッフによる日常生活支援サービスを行います。
費用については、居住費（家賃）・共益費・食費・その他利用料等を含め、月額15万円程度になります。介護保険による負担は別途となります。なお、入居対象の方については、地域密着型サービスとなるため、山形市在住の方が対象になります。



食堂兼居間



居室（全室個室）



居 室（2人室）



居 室（1人室）

ショートステイ（短期入所生活介護事業）

在宅介護中の高齢者の状況に合わせ、介護する方（ご家族）の負担軽減や一時的に介護できない場合に短期利用いただき、日常生活介護サービスの支援を受けていただくことができます。
入所対象は、65歳以上の要支援・要介護認定の方になります。
お部屋については、1人室と2人室となり、2人室については固定型パーテーションで仕切られており、プライバシーに配慮した設計としています。

乳 児 院

様々な家庭の事情（親の病気や死亡・虐待・経済的理由など）により、家庭で暮らせない3歳未満のお子さんを、家庭の代わりに24時間365日お預かりする施設です。
保育士・看護師・栄養士・社会福祉士・医師などたくさんの職種がチームとなり、連携しながら子どもたちの養育にあたっています。



居 室



談話コーナー

デイサービスセンター

ご自宅から通って受けていただくサービスです。毎日の送迎サービスから、健康チェック・入浴サービス・昼食を提供いたします。
また、運動機能向上のため、作業療法士によるリハビリ訓練や体操・レクリエーションを通じ、生活の質向上・心身の活性化図れるよう、広々としたフロアでサービスを提供いたします。



一般浴室



脱衣室



食堂兼日常訓練室



機 能 訓 練 室



チェア浴室



ストレッチャー浴室

小白川診療所

山形済生病院と協力連携のもと、午前9時から12時まで、内科・整形外科の診療を行います。
地域の皆様が安心して暮らせるための医療提供を心がけています。



診察室

ローリングベッド





リハビリ室

通所リハビリテーション

通ってリハビリを受けるサービスです。必要な時期に、適切なリハビリテーションを行うことで、自立（自律）した生活や身体機能の改善に向けた運動療法を中心とした機能訓練等を提供します。





社会福祉法人恩賜財団 済生会について

明治４４年、明治天皇は時の総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施薬救療による済生の道を広めるように」と済生勅語に添えてお手元金１５０万円を下賜されました。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年５月３０日済生会を創立しました。
以来、１００余年にわたり済生会は、創立の精神を引き継いで、保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組み、現在では、全国４０都道府県に支部を置く、日本最大の社会福祉法人になります。

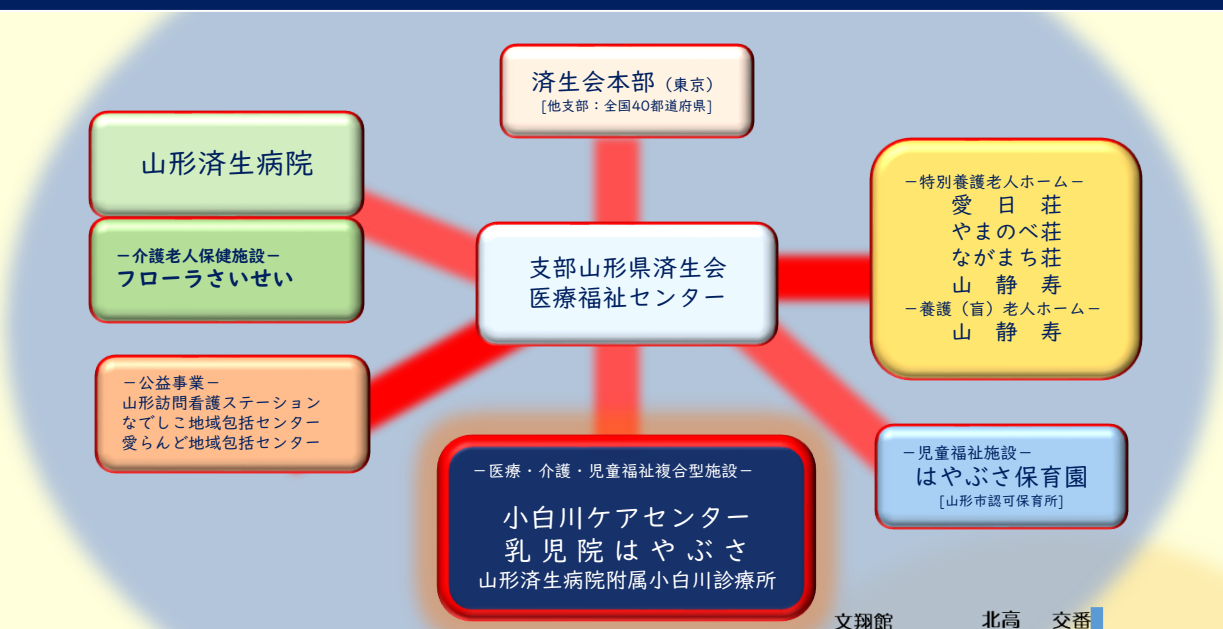
総裁　秋篠宮皇嗣殿下

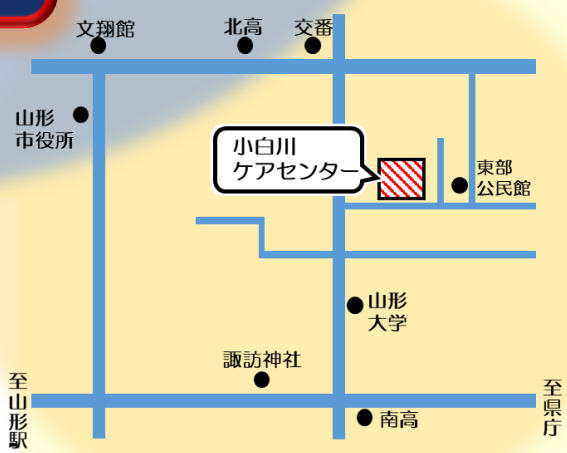
病院・診療所	103	救護施設	1	地域生活定着支援センター	5
高齢者福祉施設	147	看護師養成施設	7	その他	9
障害者福祉施設	9	訪問看護ステーション	67		
児童福祉施設	25	地域包括支援センター	31	合計404施設・職員数約67,000人	

本部（東京）・支部（40都道府県）（令和7年4月1日現在）

山形県済生会について

山形県済生会は、済生会創立30 周年記念事業の一環として、山形市旅篭町に設置された山形産院が始まりとなり、昭和19年5月19日に設立しました。現在は、山形済生病院をはじめ、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・訪問看護ステーション・地域包括支援センター・保育園に加え、新たに乳児院を設置し、済生会の理念に基づいて、保健・医療・福祉の総合的なサービスを提供しています。
21世紀、生まれる子どもはますます少なくなる一方お年寄りが多くなっています。政治・経済・社会の変わりようはめまぐるしく、保健・医療・福祉のあり方も厳しい転換期にさしかかっています。
私たち済生会人としては、歴史と伝統のなかで培った“ 済 生 ”の心をしっかりと抱きしめ、地域に生きる人たちの命を支え、健やかな体がはぐくまれるよう、これからも日々決意を新たに精進してまいります。





社会福祉法人恩賜財団 済生会山形県済生会小白川ケアセンター

〒990-0021
山形市小白川町2丁目3番1号
TEL　023-616-5080
FAX　023-616-5081
E-mail：kojirakawa@yamagata-saiseikai.org